

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	469 ブックスタート事業経費	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	08 子どもを産み育てやすい環境をつくる	目	01	保健衛生総務費
		細目	245	ブックスタート事業経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	ブックスタート事業経費
担当部課	コード	130900		担当者 氏名
	名称	健康福祉部 健康推進課		
			連絡先	22 - 9653 (内線) 2713

対象(誰を、何を)	こんにちは赤ちゃん訪問対象児と保護者 ※対象件数 740
成果(どうする)	絵本の読み聞かせにより、親子のふれあいが増し、情操教育の場となる
根拠法令・要綱等	子どもの読書活動の推進に関する法律
開始年度	平成 19 年度
終了年度	平成 22 年度
H22 事業 内容	乳児全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問事業)時に読み聞かせの重要性など趣旨を説明して絵本を配布。
社会情勢 の変化等	医師会館での単独実施では参加者が少ないので19年度から1歳6ヶ月健診において同時開催に変更

整備内容(「施設の新設」「整備事業」のみ記入)	
1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の新設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
対象参加者数	人		目標 780	目標 750	750	750
			実績 746	実績 726		
実施回数	回		目標 22	目標 22		
			実績 22	実績 22		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
対象者の参加率 (こんにちは赤ちゃん訪問数)	分子(参加者数):分母(対象者)	%	目標 85	目標 93	93	93	
			実績 92.6	実績 95.8			
			目標	目標			
			実績	実績			

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
		720	569	0	648
Aの 財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	720	569	0	648
	事業投入人件費(B)	0.5人	3,600	0.5人	3,600
	フルコスト(A)+(B)	4,320	4,169	3,600	4,248

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律で実施が義務付けられている事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業	
有効性	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい量・質のサービスが確保できず、これを補完・先導する事特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対称者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している。事業開始からの目標・目的を概ね達成している。事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない。【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
達成度	科学的メカニズムは検証されていないが、情操教育に効果があり、DV等の抑止力なることが期待される。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響は大きい。【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
効率性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	経費節減助める。
効果性	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	○
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	最小限コストで実施している。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	本年8月から乳児が6ヶ月になるまでに、訪問を繰り返す。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 1歳6ヶ月児健診時に読み聞かせ用絵本を配布していたが、乳児全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問事業)時に配布するほうが、より効果的であることから、平成22年度は9月以降は当該事業訪問日に配布することとした。

評価者氏名(担当課長)	入本 理
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 絵本を配布するのみの事業にならないよう、絵本の読み聞かせの方法や必要性に関して乳幼児の保護者に対して、更に啓蒙していく必要がある。
現時点における課題、その他	乳児全戸訪問時(こんにちは赤ちゃん訪問事業)に無償で絵本を配布しているが、現物給付とする事業でよいか検証が必要である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	配布する絵本を厳選し、またボランティア等スタッフを活用し、読み聞かせの会などを実施する。